

## 内航船舶輸送統計速報 (令和2年3月分)

### 1. 概況

総輸送量は、28,905千トン（対前年同月比5.9%減）、14,375百万トンキロ（対前年同月比6.0%減）であり、大型鋼船は18,174千トン（対前年同月比2.5%減）、10,335百万トンキロ（対前年同月比3.1%減）、小型鋼船は8,825千トン（対前年同月比13.1%減）、3,746百万トンキロ（対前年同月比13.0%減）であった。

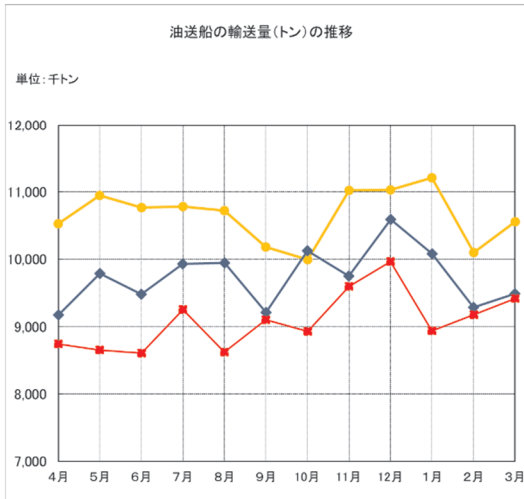
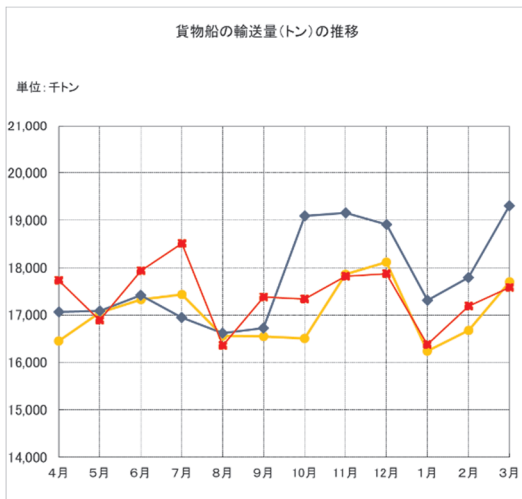
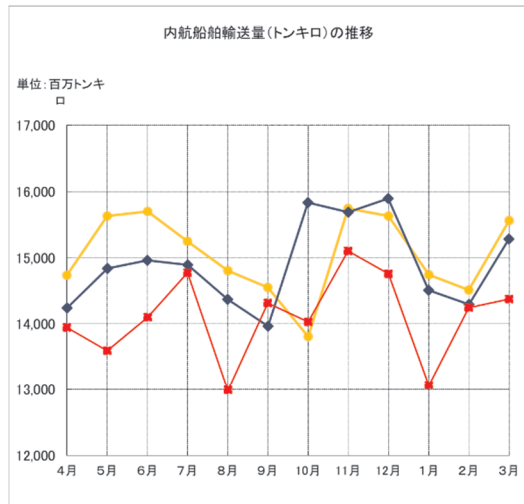
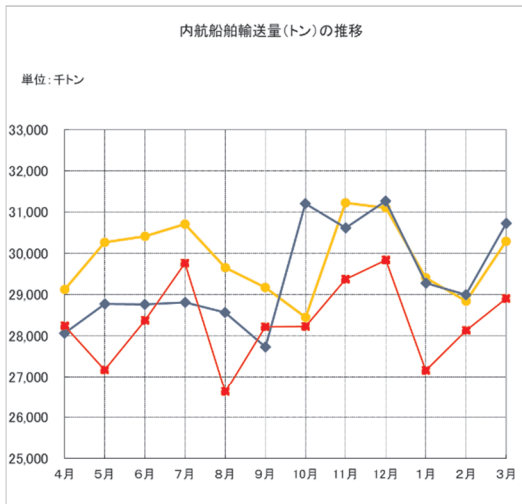
貨物船は17,581千トン（対前年同月比8.9%減）、8,904百万トンキロ（対前年同月比9.7%減）であった。

油送船は9,418千トン（対前年同月比0.7%減）、5,176百万トンキロ（対前年同月比1.4%増）であった。

プッシュャーバージ・台船は1,906千トン（対前年同月比1.6%減）、294百万トンキロ（対前年同月比8.1%減）であった。

### 2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	28,905	94.1	14,374,743	94.0
大型鋼船	18,174	97.5	10,334,725	96.9
小型鋼船	8,825	86.9	3,746,079	87.0
プッシュャーバージ・台船	1,906	98.4	293,939	91.9
貨物船	17,581	91.1	8,904,435	90.3
油送船	9,418	99.3	5,176,369	101.4
プッシュャーバージ・台船	1,906	98.4	293,939	91.9



凡例：●平成29年度（2017年度） ◆平成30年度（2018年度） ■令和元年度（2019年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：小林（内線 28-742）、西岡（内線 28-743）